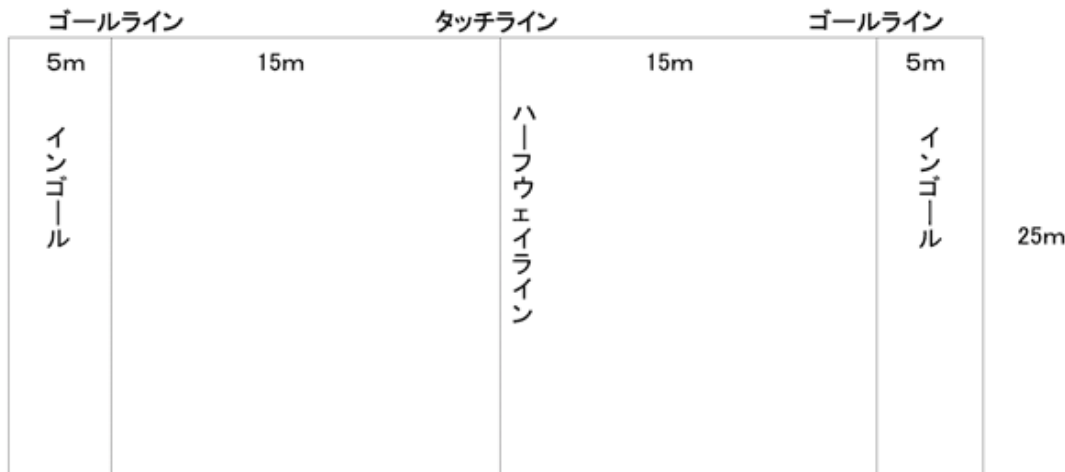


1 コート

コートサイズは横 25m ×縦 30m(ゴールラインからゴールライン)、インゴール(ゴールラインからデッドボールライン)は各 5m ずつとする。

なお、コートにより、上記サイズは主催者の判断で、増減することがある。

★本大会用の専用試合コート



2 用具

- (1) 大会期間中に使用するタグセット、タグボール、ビブスは主催者で用意したものを使用する。
- (2) ボールは 4 号球を使用し、空気圧は 0.5 ～ 0.6kg/平方センチメートル。
- (3) タグは日本協会規定サイズ(50 mm× 375 mm)。

3 チーム

(1) 競技コート内にいる 5 名のプレーヤーと入替可能な 2 名以上 5 名以下のプレーヤーから成り、原則として予選大会エントリー時の登録のまま全国大会に出場すること。ただし、プレーヤーの引越し等が生じてチームの人数が 4 名～6 名になった場合はこの限りではない。その際は、帯同コーチは試合出場ができないプレーヤーについての申立書、転校を証明する書類等を大会本部に提出し、許可を得ること。また、この場合の選手補充は認めない。

1 コーチは全国大会の各試合において、後半開始時まで登録選手を必ず全員出場させること。これに反する場合、相手チームの不戦勝とする。

2 負傷、疾病が続き、出場可能なプレーヤーが 5 名以下になった場合、公式試合は行えない。

(2) 試合開始時、試合に必要なプレーヤー及び帯同コーチが揃わない場合、相手チームの不戦勝とする。

(3) 帯同コーチは成人 2 名とする(そのうち 1 名は、他のチーム同士の試合のアシスタントレフリーが務められること)。コーチは試合中に次のことができる。

1 負傷者の救助等でレフリーの指示があった場合に競技コート内に入ること。

- 2 コートサイドの主催者が指定する位置で、チームプレーヤーへの教育的かつ建設的助言を行うこと。
 - 3 コートサイドの主催者が指定する位置でプレーヤーの入れ替えに関する管理を行うこと。
 - 4 ハーフタイムに競技コート内に入り、プレーヤーに給水をする事。
 - 5 コートサイドの主催者が指定する位置でプレーヤーの健康、安全管理を行うこと。
- (4) 帯同コーチは大会期間中の選手、自チーム応援者の言動について一切の責任を負う。これができない場合、警告以上の処分が与えられる。
- (5) レフリー、アシスタントレフリー、サブコントローラー、競技役員はチーム、帯同コーチ、観客の言動が悪質な妨害行為にあたる判断した場合、警告以上の処分を科すことができる。

4 プレーヤーの服装

- (1) プレーヤーの服装については以下の通りとする。

チームで統一(スパッツなども含む)された、運動に適した服装(学校体操着など)
運動靴またはトレーニングシューズ。

また、スポンサー名・商品名等の入ったユニフォームについては事前に事務局にお問合せ下さい。

- (2) プレーヤーは以下のものを着用することができる。

- 1 髪留め(ゴム製)
- 2 めがね(試合中に脱落しないよう、固定すること。万が一の接触に備えて、強化プラスチック製のものを着用することが望ましい)

- (3) 以下の物については着用を認めない。

- 1 手袋(タグの色と紛らわしいため。また、着用の有無による利益不利益をなくすため)
- 2 ギブス等医療装具(着用しないとプレーできない場合は出場させるべきではないから)
- 3 その他、タグラグビーをプレーする上で必要ない物

5 選手の入替

- (1) 入替は以下の時に何度でも可。

- 1 ポイント(トライ)後
- 2 ハーフタイム開始時
- 3 負傷でゲームが中断した時

(2) 入替は帯同コーチが交代を管理するサブコントローラーに申し出、レフリーが承認して成立する。入れ替えが行われている間、試合は再開しない(時間は継続)。入れ替えを行うチームは速やかに実施できるよう準備する。

(3) 負傷により退場したプレーヤーがその試合に戻ることはできるが、出血している状態に戻ることはできない。

6 試合時間

- (1) 試合時間は前半 5 分ーハーフタイム 1 分ー後半 5 分とする。
 - (2) プレーヤーはハーフタイムには、サイドチェンジを行なった後にチームから飲水を行なえる。ただし、自チームベンチに戻ることはできない。プレーヤーは後半開始時には競技再開ができる位置にいないなければならない。
- レフリーは、チームの行為が遅延行為にあたりと判断した場合、相手側のフリーパスによる再開を行う。

7 レフリー

- (1) マッチオフィシャルは 4 名もしくは 3 名(レフリー1 名 アシスタントレフリー1 名もしくは2名、サブコントローラー1 名)とする。
- (2) レフリー及びサブコントローラーは主催者が指名する。アシスタントレフリー1 名については、全参加チームの帯同コーチの中から主催者が指名する。 ※レフリー及びアシスタントレフリー、サブコントローラーは主催者が指名する
- (3) アシスタントレフリーが 1 名の場合、レフリーは可能な限りグラウンドタッチライン際より判定を行う。また、レフリーの服装はプレーヤーに準ずる。
- (4) アシスタントレフリーはタッチライン沿いで以下を行う。
 - 1 レフリーの判定の補佐。
 - 2 選手の入替の補佐。
 - 3 負傷者のための試合停止の要請。
 - 4 帯同コーチ・観客の悪質な妨害行為のレフリーへの報告。
- (5) サブコントローラーはグラウンドサイド、ハーフウェイラインに位置し、以下を行う。
 - 1 選手の入替の管理(全員出場の確認を含む)
 - 2 得点の確認
 - 3 チーム、帯同コーチ、観客の悪質な妨害行為に対する警告並びにレフリーへ妨害行為を行ったチーム、帯同コーチ、観客を報告する。
- (6) レフリーはその試合における唯一の事実の判定者であり、レフリーに対して抗議することは認められない。
- (7) レフリーは以下の場合に試合を停止することができる。
 - 1 プレーヤーが負傷し起きあがれない場合。マッチドクターからの要請による場合も同様とする。
 - 2 プレーヤー、帯同コーチ、観客に注意を与える場合。

レフリーが、以上の理由で試合を停止した場合、再開は停止を命じた時点でボールを保持していた側のフリーパスとする(タグの回数は継続)。競技時間を停止する場合、レフリーは明確な方法で試合時間の管理者に伝達する。

8 試合時間の管理と試合の記録

- (1) 試合時間の管理及び試合の記録を行う者は主催者が任命する。
- (2) 試合時間を管理するものは、レフリーの合図により試合時間の進行を止めることができる。
- (3) 負傷者の対応により著しく時間をロスした場合、レフリーは自身の判断でロスタイム分の延長を行なえる。

9 試合終了(ノーサイド)

試合終了(ノーサイド)はプレーの切れ目ではなく時間によって区切られる。レフリーが試合を停止した場合、その試合はレフリーのノーサイドの合図をもって終了とする。

10 試合の勝敗について

ノーサイドの時点で得点数の多いチームを勝者とする。